

内閣府発表の令和2年度青少年（18歳未満）のインターネット利用環境実態調査結果によると、全体の95・8%がインターネットを利用しています。利用機器はスマホが最も多く、高校生の

99・1%が自分のスマホを

持ち、9歳以下の低年齢層でもスマホの利用が32・3%となっています。

インターネットの利用時間は1日平均205分で前年度より増えています。利用内容は、高校生で最も

ネット・スマホの安全な利用

多いのがコミュニケーション、中学生は動画視聴、小学生はゲームでした。

インターネットやスマホの利用ルールについては、子供たちと保護者の間で認識のくい違いがあることも分かりました。今ではインターネットは大人から子供まで利用しており、私たちの生活の一部になっています。ルールをしつかりと決めて安全な利用をすることが大切です。

防犯一口メモ